

集 特 算 予

平成21年度一般会計予算は
125億8,000万円

市民の安全安心対策と 子育て支援施策に重点配分

平成21年度当初予算が3月定例会で可決されました。市の予算総額は、前年度から2・2%減の236億5,355万円。このうち一般会計は、前年度から2・3%減の125億8,000万円となりました。子育て支援対策に積極的に予算を配分するなど、本市の重要課題に対処するために必要な予算配分を行いました。

一般会計

一般会計は、市税をはじめ、国・県の補助金や交付金などを財源として、保健や福祉、教育、土木、環境対策などの基本的な施策を行う会計です。

本年度は、景気の後退等による市税の減収見込や、地方譲与



5月に米倉分校跡に開設予定のつといの広場
(写真は野栄福祉センター内の同施設)

税等の減収見込など、昨年度以上に一般財源の確保が難しくなっています。国・地方財政対策や市債の償還額の大幅な減少および人件費の減少見込などから、市の貯金である財政調整基金の取崩しをすることなく予算編成が行えました。

主な新規事業では、市民の連帯強化と地域振興を推進するための地域振興基金の造成、地球温暖化対策や循環型社会の形成を推進するための環境基本計画の策定、地域住民の利便性の向上と安全性を確保するための市道0103号線(川辺)の交差点改良等を実施します。

合併関連事業では、地域振興基金の造成のほか、平成20年度に引き続き防災行政無線整備、野栄総合支所改修、南北連絡道路(市道11137号線(野手))

改良の4事業を実施します。

また、子育て支援対策では、須賀児童クラブの開設、市立保育所における土曜日延長保育の実施、米倉分校跡へつといの広場の開設、妊婦健診の公費負担回数の拡充など、教育・福祉・保健分野において子育て支援対策を拡充します。

そのほか、市民病院とのアクセス改善を図る市道108号線の整備や、市内循環バスの増便と路線の見直しによる利便性の向上を図るなど、市民生活に直結した施策、将来の発展に不可欠な施策を予算化しています。

特別会計

特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行うために、一般会計と区別して経理する会計です。

国民健康保険事業は前年度比で0・1%の減、後期高齢者医療制度への移行に伴い、老人保健事業が99・2%の減となる一方、後期高齢者医療事業では1・8%の増となりました。また、介護保険事業では介護報酬の改定などにより8・0%の増となり、病院事業会計の収益的支出では1・8%の減、資本的支出では16・7%の減となっています。

問財政課財政班 ☎73・0085

市長の施政方針から (要旨抜粋)

歳入に見合った 財政運営



江波戸市長
本市の財政は、歳入で人件費、公債費などが減少する一方で、歳入の根幹をなす市

税が固定資産税の評価替えや景気の後退等により減収すると見込まれるほか、各種譲与税・交付金も景気の後退を受けて減収すると見込まれ、依然として厳しい状況が続くと考えております。

平成21年度の予算編成に当たっては、匠瑤市総合計画との整合性を図り、匠瑤市行政改革大綱を踏まえながら各課が主体的に事業の方向性を判断し、コス

ト意識の向上と質の高いサービスの提供による効率的な行政運営を行うため、平成20年度に引き続き枠配分方式による予算編成といたしました。その中で、市長政策柱に子育て支援枠を設け、子育て支援対策に対して積極的に予算を配分するなど、本市の重要課題に対処したところであります。

依然として厳しい財政状況に変わりはありませんが、国の地方財政措置等により、結果として財政調整基金を取り崩すことなく予算編成が行えたことは、近年にはなかったことであり、基金に頼らない歳入に見合った財政運営に一步近づけたのではないかと考えております。

会計別予算 ()内は対前年度比増減率

会 計 名	平成21年度	平成20年度
一 般 会 計	125億8,000万円 (△2.3%)	128億8,000万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	50億 22万円 (△0.1%)
	老人保健特別会計	261万円 (△99.2%)
	後期高齢者医療特別会計	5億5,526万円 (1.8%)
	介護保険特別会計	24億6,645万円 (8.0%)
	収益的支出	27億2,900万円 (△1.8%)
	資本的支出	3億2,001万円 (△16.7%)
小 計	110億7,355万円 (△2.1%)	113億1,099万円
合 計	236億5,355万円 (△2.2%)	241億9,099万円

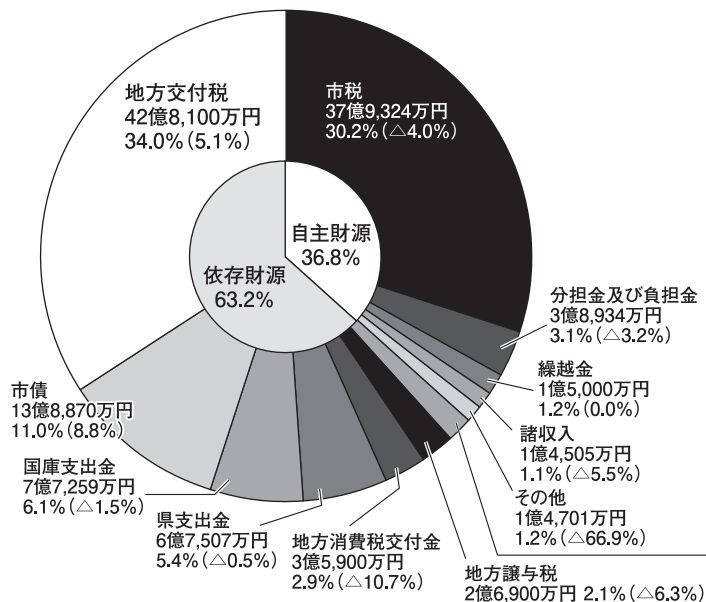
一般会計予算の内訳

1万円未満は四捨五入

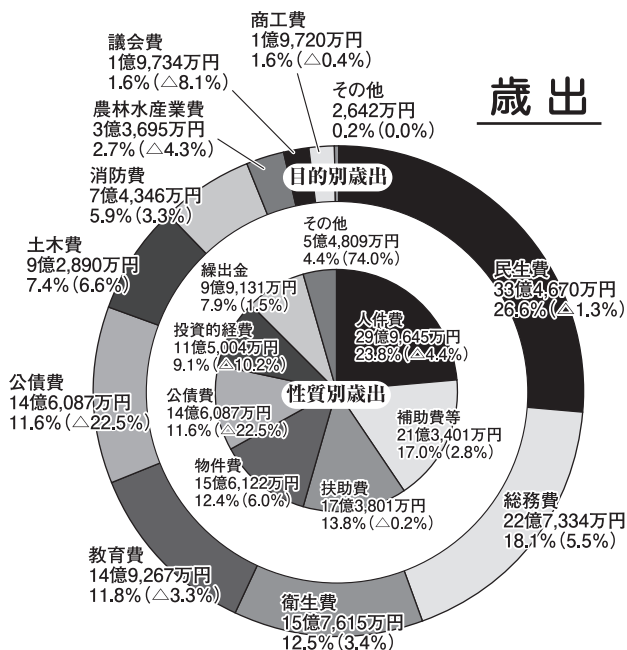
() は対前年度比

予算額：125億8,000万円

歳入



歳出



一般会計の主要事業

◆健康・福祉・医療分野

- 拡・つどいの広場事業…………… 660万円
米倉分校跡に新設、2か所に拡大
- 拡・市立保育所管理…………… 3億388万円
市立保育所5園の管理運営費、土曜日延長保育を実施
- ・私立保育所運営費支弁等…………… 4億9,525万円
- ・乳幼児医療扶助事業…………… 5,836万円
- 拡・妊婦・乳児委託健康診査事業…………… 3,095万円
妊婦健康診査の公費負担を5回から14回に拡大
- ・後期高齢者医療特別会計繰出金…………… 3億5,623万円
- ・国民健康保険特別会計繰出金…………… 2億3,540万円
- ・介護保険特別会計繰出金…………… 3億9,748万円
- ・病院事業会計助成事業…………… 3億5,465万円
- ◆産業・経済分野
- ・北総東部土地改良事業…………… 2,165万円
- 拡・土地改良助成事業…………… 1,416万円
経営体育成基盤整備事業（春海・椿海・豊和）負担金、春海地区施工開始
- ・中小企業資金融資事業…………… 9,000万円

◆生活環境・都市建設分野

- ・防災行政無線整備事業…………… 1億7,533万円
- ・合併処理浄化槽設置促進事業…………… 4,097万円
- ・道路新設改良費…………… 5億6,685万円
- ・循環バス運行事業…………… 5,837万円
- 新・環境基本計画策定事業…………… 564万円
計画策定に伴う基礎調査およびアンケートの実施
- ・都市計画マスタープラン策定事業…………… 720万円
- ・消防施設整備事業…………… 3,848万円
- ◆教育・交流分野
- ・小中学校学習支援補助教員配置事業…………… 2,037万円
- 拡・幼稚園管理費…………… 2,441万円
のさか幼稚園屋根改修
- 拡・放課後児童クラブ育成事業…………… 5,154万円
須賀児童クラブ新設
- 拡・国民体育大会準備費…………… 3,441万円
リハーサル大会の実施
- ◆住民協働・行財政分野
- ・野栄総合支所改修事業…………… 1億673万円
- 新・地域振興基金積立金…………… 2億6,000万円
地域振興を推進する財源確保のための基金造成
- ・電子計算費…………… 1億2,724万円

平成20年度 一般会計の補正

国から、定額給付金給付事業費補助金や地域活性化・生活対策臨時交付金などが交付されることから、これに伴って豊栄小学校屋内運動場改築事業など平成21年度予算への計上を見込んでいた事業などを補正予算に計上しました。

◆国の補正予算対応の主な事業

- ・電子計算処理事業……………4,368万円
- ・子育て応援特別手当給付事業…………… 2,139万円
- ・商工業活性化支援事業（プレミアム付共通商品券発行事業補助）……………550万円
- ・地域づくり戦略プラン策定事業…………… 280万円
- ・（仮称）コートハウス吉崎整備事業…………… 3,438万円
- ・定額給付金給付事業…………… 6億6,042万円
- ・豊栄小学校屋内運動場改築事業…………… 3億1,073万円
- ・八日市場小学校屋内運動場改築事業…………… 1,563万円
- ・小学校校舎耐震補強事業…………… 7,004万円

新…新規事業

拡…拡大事業